

平成26年度栃高教研情報教育部会中部支部会 支部会実施報告

- 1, 日 時 平成26年10月14日(火) 13:30 ~ 16:00
- 2, 会 場 栃木県立宇都宮中央女子高等学校 会議室
〒320-0072 宇都宮市若草2-3-46
- 3, 参加者 24名(宇都宮, 宇都宮南, 宇都宮清陵, 宇都宮女子, 宇都宮中央女子, 宇都宮白楊, 宇都宮商業, 鹿沼, 鹿沼東, 鹿沼南, 石橋, 真岡, 真岡女子, 真岡北陵, 真岡工業, 益子芳星, 茂木, のぞわ特別支援学校, 富屋特別支援学校, 宇都宮大学付属, 作新学院)

4, 日 程

- ① 支部会 13:30~14:15 ② 講演会 14:15~15:30 ③ 研究協議 15:30~15:45

5, 内 容

・支部会

今回は、講演会を行うことになったため、支部会としては約30分ほどの時間しかとれなかったため、参加者の自己紹介と各校の教科「情報」及び情報教育全般への取り組みに関するものについて簡単に発表を行った。

実施科目 ほとんどの学校が、「社会と情報」を実施している。一部「情報と科学」を実施し、プログラミング等を行っている学校もあった。

学年単位数 実施単位数は2単位がほとんどで、実施学年は、1年で1単位、2年で1単位と分けて実施する学校と1年か2年でまとめて2単位実施する学校が半々ぐらいであった。

授業担当者 各学校まちまちであるが、芸術・家庭科・地歴公民等、学校の事情により臨免で担当している先生が多いようである。

授業内容 ほとんどが、エクセル・ワードの使い方から始まり、調べ学習を通しパワーポインターで発表を行う学校がほとんどであった。また、検定を行っている学校もある。

課題等

・講演会

講師：宇都宮大学 教育学部 教育実践総合センター
准教授 川島 芳昭 先生

演題：「スマートフォン・タブレット端末を利用した教育実践の最新事情」

川島先生から、わかりやすく最新事情について講話をいただいた。

講話の内容



なぜ必要なのか。以下のように記載されているため。

新学習指導要領の改訂 文科省(2008年3月)

学習指導要領の総則

- ・各教科等の指導(情報モラル育成、学習活動の充実)
 - ーコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ実践的、主体的に活用する
 - ー視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を適切に活用する。

学習指導要領解説総則編

- ・教材・教具を有効、適切に活用
 - ー情報手段の操作に習熟+情報手段の特性を理解+指導の効果を高める方法の研究
教科指導におけるICT活用の必要性

学習指導要領解説

- ・情報モラルの育成：情報手段の構成・仕組み等から（情報の科学）
- ・各教科指導（教師に求められる能力）
 - －情報手段の操作に習熟
 - －情報手段の特性の理解
 - －学習効果を高める方法の研究
- ・ICT環境の整備
- ・情報セキュリティーの確保

成果はあるのか。

- ・教科指導にICT活用で学習効果が向上
 - －平成17,18年度 文科学委託事業「ICTを活用した指導の効果の調査」（全国752件の検証授業）
 - －関心・意欲・態度・：教員の98.0%が効果を認めた。
- ・生徒に対する調査結果
 - －学習に対する積極性や意欲が向上
 - －学習の達成感などが向上
 - －児童生徒に対する客観テストの結果
各教科の得点、「知識・理解」や「技能・表現」の観点で高い効果
- ・フューチャースクール事業
 - －中学校の実践
総務省、岡山県・哲西中学校
- ・実践事例と授業での活用
 - －千葉県袖ヶ浦高校、広尾学園高等学校、近畿大学附属高校
- ・授業での活用
 - －授業での目標達成を支援する道具
 - －生徒の興味・関心を喚起
 - －予習・復習などの個に対応
 - －大画面への様々な提示方法

どんなアプリがあるのか。

- ・アプリを探す
 - －授業に何が必要かを検討、アプリを探すのではなく、使いたい機能を探す
- ・ファイル共有
 - －クラウドの利用、SNSの利用

上手につかうためには

- ・学校内でできること
 - －教科ごとに使う授業場面を検討
必要な機能を確認、アプリの検索、
年間指導計画に組み込む
 - －月に一度程度の実践
上手な使い方をしている先生を見本
 - －実践後の振り返り

教育委員会と連携すること

- ・学校内の環境整備
 - －無線LANの設置
 - －管理装置の設置
- ・管理体制の明確化
 - －機器導入方法と維持・管理
 - －ソフトウェアやアプリの購入方法

